

## 凡 例

一、本史は昭和五十六年三月に刊行された滝川市史上・下巻の続巻として、おおむね昭和五十五年一月から平成二年十二月末までの記事を記載しているが、資料集録の関係で一部については昭和六十三年度までの部分もある。

一、年表については下巻に記載されているものを修正、補足のうえ全部掲載するとともに、平成二年十二月末日まで記載した。

一、編・章・節は原則として上・下巻と同じにしたが、続巻の性格上関係のない編・章・節の内容は省略して上・下巻との関連を示すにとどまったところもあるし、必要によっては章・節を新設したり、補説という形式をとった箇所もある。

一、本史は、補遺版としての性格も併せもち、上・下巻に収録された記事の中で欠けた部分や誤りがあったものについて補足・訂正をしている。

一、記述の一部には、上・下巻との関連を明らかにするために、昭和五十五年以前の史実も記載して、理解を深める手がかりとした箇所もある。

一、写真は、上・下巻と重複しないようつとめた。

一、その他、記載上のことについては上・下巻と同じである。







滝川市史 続巻 目次

凡 例

引用又は参考文献

第一編 北海道抄史

第一章 蝦夷地時代

第一節 古代の北海道……………△上 三▽  
 第二節 和人の移住……………△上 三▽  
 第三節 蝦夷地の管領……………△上 四▽  
 第四節 松前藩の確立と蝦夷地開発の情勢……………△上 六▽  
 第五節 江戸幕府の直轄時代……………△上 九▽  
 第六節 松前氏の復領と対露問題……………△上二〇▽  
 第七節 幕府の再管領……………△上二二▽

第二章 開拓使時代

第一節 箱館裁判所（府）の開設……………△上二四▽  
 第二節 奥羽騒乱と五稜郭の平定……………△上一四▽  
 第三節 開拓使設置と道・国・郡の命名……………△上一五▽  
 第四節 開拓使の新政と諸藩分領……………△上一九▽

第五節 開拓使十年計画とその成績……………△上二〇▽

第三章 三県一局時代……………△上二三▽

第四章 北海道庁時代

第一節 北海道庁の成立と新政策……………△上二五▽  
 第二節 北海道十年計画とその実績……………△上二五▽  
 第三節 第一期拓殖計画……………△上二六▽  
 第四節 第二期拓殖計画……………△上二七▽

第五章 北海道時代

第一節 戦後緊急開拓時代……………△上二九▽  
 第二節 北海道総合開発計画……………△上三〇▽  
 第三節 第二期道総合開発計画……………△上三三▽  
 第四節 第三期道総合開発計画……………△上三四▽  
 第五節 新北海道総合開発計画……………△上三五▽

第六章 空知の概要

第一節 空知の沿革……………△上三八▽  
 第二節 空知の概況……………△上三九▽

第二編 自然

第一章 地誌

第一節 位置・面積……………七

面積の変更

第二節 地勢…………… $\wedge$ 上四五 $\vee$

第三節 地質…………… $\wedge$ 上四五 $\vee$

第四節 応用地質(地下資源)…………… $\wedge$ 上五〇 $\vee$

第二章 気象

第一節 気象観測……………八

1 気温 2 雨量 3 霜・雪 4 天候 5 地温・水温

第二節 岩見沢測候所滝川気象通報所…………… $\wedge$ 上七五 $\vee$

第三章 生物

第一節 昔の動植物について…………… $\wedge$ 上七七 $\vee$

第二節 滝川の動物…………… $\wedge$ 上八二 $\vee$

第三節 滝川の植物…………… $\wedge$ 上八五 $\vee$

第三編 開拓

第一章 先住民族

第一節 日本の人種…………… $\wedge$ 上九二 $\vee$

第二節 本道の先住民族…………… $\wedge$ 上九二 $\vee$

第三節 滝川における先住民族…………… $\wedge$ 上九五 $\vee$

第四節 滝川とアイヌ…………… $\wedge$ 上一〇三 $\vee$

第五節 アイヌ語地名とその語源…………… $\wedge$ 上一一四 $\vee$

第二章 開村以前

第一節 場所と運上金…………… $\wedge$ 上一一九 $\vee$

第二節 初期の探検時代…………… $\wedge$ 上一二一 $\vee$

第三節 松浦武四郎と滝川…………… $\wedge$ 上一二三 $\vee$

第四節 開拓使時代の行政区域…………… $\wedge$ 上一二六 $\vee$

第五節 明治時代の探検調査…………… $\wedge$ 上一三一 $\vee$

第六節 集治監と囚人使役…………… $\wedge$ 上一四六 $\vee$

第七節 十津川移民…………… $\wedge$ 上一六八 $\vee$

第四編 屯田兵制

第一章 屯田兵の起源

第一節 屯田の語句…………… $\wedge$ 上一八三 $\vee$

第二節 屯田兵制の起り…………… $\wedge$ 上一八三 $\vee$

第二章 屯田兵制度

第一節 屯田兵の諸規定…………… $\wedge$ 上一八七 $\vee$

第二節 屯田事務局設置と屯田兵の服役・給与…………… $\wedge$ 上一八九 $\vee$

第三節 屯田予備兵の制度…………… $\wedge$ 上一九〇 $\vee$

第四節 制度の改正と第七師団への従属……………△上一九二▽  
 第五節 屯田兵の消長沿革……………△上一九六▽  
 第六節 屯田兵の召募・配備……………△上一九六▽

### 第三章 滝川屯田

第一節 南・北滝川屯田兵村設置の経緯……………△上一〇六▽  
 第二節 空知太屯田兵の募集……………△上一〇九▽  
 第三節 十津川移民の屯田兵応募……………△上一二二▽  
 第四節 屯田兵の受入準備……………△上一二五▽  
 第五節 滝川屯田兵の移住……………△上一二七▽  
 第六節 滝川屯田兵氏名及び編制……………△上一三二▽

### 第四章 江部乙屯田

第一節 江部乙屯田兵の募集……………△上一四三▽  
 第二節 江部乙兵村の受入準備……………△上一四七▽  
 第三節 江部乙屯田兵の移住……………△上一五〇▽  
 第四節 江部乙屯田兵氏名及び編制……………△上一六〇▽  
 補説一 屯田兵村別開墾成績……………△上一五二▽  
 補説二 滝川屯田と江部乙屯田の開墾達成度……………△上一六二▽  
 補説三 開墾成績の悪い他兵村について……………△上一六七▽  
 補説四 屯田兵の後継者や子孫の現況……………△上一七二▽  
 滝川屯田兵遺徳顕彰会 屯田兵の子孫 江部乙屯田親交会  
 江部乙屯田兵の子孫……………△上一七二▽

### 第五章 兵村の制度と活動

第一節 屯田移住民到着後の諸給与……………△上一六八▽  
 第二節 兵村の自営的諸制度と組織……………△上一七四▽  
 第三節 屯田兵の服務・練兵及び生活・日課……………△上一八六▽  
 第四節 屯田兵の従軍……………△上一九二▽  
 第五節 開拓営農……………△上一九九▽  
 第六節 屯田歩兵第二大隊日誌……………△上三〇八▽  
 第七節 屯田兵恩給……………△上三一二▽  
 第八節 屯田兵談話及び座談会……………△上三一五▽

### 第五編 行政

#### 第一章 行政

第一節 地方行政の概況……………△上三二七▽  
 第二節 空知郡空知太……………△上三二九▽  
 第三節 行政区域の変遷……………△上三三二▽  
 第四節 戸長役場時代……………△上三四一▽  
 第五節 歴代戸長……………△上三四六▽  
 第六節 二級町村制時代……………△上三六〇▽  
 第七節 一級町村・町制時代……………△上三六三▽  
 第八節 市制時代……………△上三八三▽  
 第九節 江部乙地区の分村……………△上三九八▽

第十節 二級町村制江部乙村……………△上三九九▽

第十一節 一級町村制江部乙村……………△上四〇三▽

第十二節 町制施行江部乙町……………△上四一八▽

第十三節 滝川市・江部乙町の合併……………△上四三三▽

補説一 幻の夕張外四郡役所……………三五

補説二 合併以前の行政形態と首長……………三七

- 1 滝川村戸長役場時代
- 2 二級町村制滝川村
- 3 一級町村制滝川村
- 4 滝川町
- 5 滝川市
- 6 二級町村制江部乙村
- 7 一級町村制江部乙村
- 8 江部乙町
- 9 滝川市(合併以降)

滝川市の歴代市長・助役・収入役  
 歴代北海道首長 歴代空知支庁長

第十四節 新しい滝川市の誕生と市政……………三九

新市建設五か年計画 十か年計画の策定 滝川市長期間  
 発基本構想の策定 前期基本計画 中期基本計画 昭和  
 五十四年以降の歴代市長・助役・収入役 新市初代市長  
 吉岡清榮 △一都市基盤整備 二教育・文化の振興 三  
 民生・社会福祉の向上 四保健・体育と生活環境の向上  
 五産業・経済振興、観光 六親善都市交流と国際親善交  
 流の推進 七広域行政の展開 八一般行政・その他▽  
 九各種記念事業の実施△1滝川市・江部乙町合併一〇年  
 記念事業 2市制施行二五年記念事業 3終戦四〇年記  
 念事業 4地方自治法施行四十周年記念式 5市制施行  
 三十周年記念行事 6開基一〇〇年記念事業 滝川市市  
 民憲章 市の広報活動 相談事業 まちづくり見字バス  
 健康都市宣言 平成二年度北海道まちづくり功労表彰受  
 賞

第十五節 市役所庁舎の変遷……………△上四六一▽

第十六節 市役所機構……………五六

滝川市機構図 職員数調

第十七節 名誉市民・市政功労者……………六〇

第十八節 戸 口……………八六

空知管内 中空知広域生活圏の人口 滝川市の人口動態  
 △1人口増 2ドーナツ化現象 3世帯数の変動 4高  
 齢化 5戸口統計資料▽ 戸口統計 人口動態の推移  
 本籍状況 年齢(五歳別)・男女別人口国勢調査 地域  
 別・世帯数及び男女別人口

第十九節 滝川市の行政改革……………九四

第二十節 住民組織の変遷……………九七

滝川村村則にある組長 区長制度 町内会・部落会 G  
 HQからの解散指令 駐在員(滝川)と行政連絡員(江  
 部乙) 行政推進員制度の発足 行政推進員制度の廃止  
 と町内会組織 今後検討すべき課題 滝川市コミュニテ  
 イ推進協議会の設立から解散まで 滝川市町内会連合会  
 連絡協議会の設立

第二十一節 都市間交流・国際交流……………一〇二

1都市間交流△栃木市・名護市▽ 2国際交流△スプリ  
 ングフィールド市・キルナ市▽ 滝川市国際交流協会

### 第二章 都市計画

第一節 北海道の殖民地撰定と開発……………△上四八九▽

第二節 地名・字名の由来……………一〇六

第三節 滝川の市街計画……………一〇七

空知太市街設置計画 道庁告示の通り名 昭和二十七年  
 の字名・地番改正 江部乙市街 住居表示制の実施 都

市計画審議会 住居表示審議会  
 第四節 都市計画区域と整備……………一一〇

都市計画主要工事 都市計画道路 都市公園・緑地の設  
 置状況 都市計画公園・緑地 寒地住宅相談所

第三章 選挙

第一節 総代人の選挙……………△上五一九▽  
 第二節 滝川村・町・市議会議員……………△上五二二▽  
 第三節 江部乙村・町議会議員選挙……………△上五三二▽  
 補節 昭和五十四年以前の村・町・市議会議員……………一二七  
 第四節 滝川市議会議員選挙……………一三〇

第二十三回～二十四回選出市議会議員選挙  
 議会常任委員会委員 歴代市議会議長・副議長 付・合  
 併以前の両市町議会歴代正副議長 市議会開催日数並び  
 に議案件数

平成元年度滝川市議会日数・付議件数  
 常任委員会 特別委員会等 平成元年度請願・陳情書提  
 出状況 意見書提出状況 議員有功章

第五節 市長選挙……………一三七  
 第四回、第五回市長選挙  
 第六節 道議会議員選挙……………一三八  
 第二十二期～二十三期総選挙  
 第七節 知事選挙……………一三八  
 第十回～第十一回知事選挙  
 第八節 衆議院議員選挙……………一三九  
 第三十六回～第三十九回総選挙

第九節 参議院議員選挙……………一四一  
 第十二回～第十五回選挙

第十節 政党・政派……………一四二  
 滝川市の各政党の動き

第四章 各委員会委員

第一節 地方自治法以前の委員……………△上五八二▽  
 第二節 執行機関の委員会委員……………一四八  
 滝川市教育委員会委員 選挙管理委員会委員 監査委員  
 滝川市ほか六組合公平委員会委員 固定資産評価審査委  
 員会委員 特別土地保有税審議会  
 第三節 行政各委員等……………一五〇

特別職報酬等審議会委員 表彰者選考審議会委員 公務  
 災害補償等認定委員会及び審査委員会委員 明るい選挙  
 運動推進協議会委員 滝川市営事業等調査審議会

第五章 広域行政

第一節 国の広域市町村圏構想……………一五五  
 1 広域市町村圏施策推進の基本的方向 2 新広域市町村  
 圏計画の改定 3 広域行政体制の整備 4 ふるさと市町  
 村圏との関係 5 国の措置  
 第二節 北海道広域市町村圏連絡協議会……………一五六  
 道内広域市町村圏一覽  
 第三節 中空知市町振興協議会の解散……………一六〇  
 中空知市町振興協議会歴代役員  
 第四節 中空知広域市町村圏組合……………一六一  
 1 道路維持管理センター事業 2 交通災害共済制度 近

年の加入状況・収入額・見舞件数加入奨励金・見舞金支給額 3 交通遺児奨学事業 最近四か年の奨励金支給状況 4 視聴覚ライブラリー事業 機材の保有状況 教材の保有状況 5 圏内の人口の推移 6 中空知広域市町村圏の自治大臣表彰

第五節 複合事務組合の誕生……………一六六

ふるさと市町村圏 複合事務組合の発足 改正後の中空知広域市町村圏組合機構 ふるさと市町村圏基金各市町出資額一覧

第六節 中空知広域市町村圏組合歴代理事者・組合議

会議員・教育委員……………一六八

統合前の理事者 統合後、平成二年一月末現在の理事者 中空知広域市町村圏 組合議会議員 平成二年一月選出議員 教育委員会委員

第七節 滝川市ほか二町衛生施設組合……………一七一

組合理事者 同組合議会議員

第八節 滝川市ほか二市二町伝染病隔離病舎組合……………一七二

同組合理事者 昭和五十八年五月十三日選出議員 昭和六十二年五月二十五日選出議員

第九節 滝川地区広域消防事務組合……………一七三

消防事務組合理事者 組合議会昭和五十八年五月十六日選出議員 昭和六十二年五月十四日選出議員 滝川地区広域消防事務組合消防審議会

第十節 空知教育研修センター組合……………一七五

研修事業の概要 組合理事者 組合教育委員 組合研修センター所長・副所長

第十一節 中空知広域水道企業団……………一七八

広域水道企業団の発足 企業団設立に至る経緯 事業の概要 基本計画 用水供給開始までの企業団のあゆみ 企業団の組織 施設概要図

第十二節 石狩川流域下水道……………一八〇

1 石狩川流域下水道中部地区協議会 2 石狩川流域下水道事業 年度別事業の実施状況 3 石狩川流域下水道組合 4 北海道流域下水道事務連絡協議会

第六編 財政

第一章 一般会計の変遷

第一節 戸長役場時代……………一八二

第二節 町村制時代……………一八三

第三節 江部乙村・町一般会計……………一八四

第四節 一般会計……………一九一

年度別決算額 市債

第二章 税の変遷

第一節 税の変遷……………一八六

第二節 税制の推移……………一九九

第三節 市税・手数料の変遷……………二〇三

1 市民税個人の市民税所得割税率 2 国民健康保険税 3 市民税の業種別課税状況 4 固定資産税の資産別課税状況 5 都市計画税の課税状況 6 たばこ税 7 条例徴収による手数料 8 規則徴収の手数料

第三章 特別会計

第一節	国民健康保険特別会計	二二一
第二節	下水道事業特別会計	二二三
第三節	勤労者福祉共済特別会計	二二四
第四節	老人保健特別会計	二二五
第五節	公営住宅事業特別会計	二二七
第六節	市立病院特別会計	二二七
第七節	江部乙国民健康保健病院特別会計	二一八
第八節	滝川市病院事業会計	二一九
第九節	上水道特別会計	二二二
第十節	基本財産特別会計及び市有財産	二二四

## 第四章 納 税

第一節	納税奨励と納税組合	二二六
第二節	納税貯蓄組合名	二二七
第三節	滝川税務署	二三一

# 第七編 厚 生

## 第一章 保健・衛生

第一節	開拓期の医療	八上七二七
第二節	伝染病と衛生組合	二三五

戦後の伝染病の概況 衛生組合 滝川市地域衛生協力連  
 合会 伝染病予防接種の実施内容 滝川市衛生推進協議  
 会 滝川地方食品衛生協会

第三節	開 業 医	二三八
-----	-------	-----

開業医院・病院 開業歯科医院 滝川三師会 滝川市医  
 療保健対策協議会 医療保健対策協議会委員

第四節	滝川市立病院	二四二
-----	--------	-----

沿革の概要 市立病院の概要

第五節	滝川市江部乙国民健康保険病院	二四六
-----	----------------	-----

沿革の概要 国保病院の現況

第六節	国民健康保険	二四八
-----	--------	-----

国民健康保険の推移 国民健康保険税の改定 平成元年  
 度改定の概要 国民健康保険の状況 国民健康保険運営  
 協議会

第七節	保健・環境衛生	二五〇
-----	---------	-----

乳幼児健康診査 歯科検診 成入病・保健指導 滝川市  
 保健センター 施設・設備の概要 滝川市休日夜間急病  
 センター じん芥処理 1 滝川市有機物供給センター  
 運営協議会 2 滝川市清掃センター 最新施設と収集有  
 料化 し尿処理

第八節	北海道滝川保健所	二六一
-----	----------	-----

## 第二章 社会福祉

第一節	社会福祉制度	二六三
-----	--------	-----

滝川市福祉事務所の機構 1 滝川市民福祉条例関係の執  
 行概要 2 身体障害者福祉関係 入財団法人北海道傷痍軍  
 人会 滝川地方支部 身体障害者団体 社団法人北海道身  
 体障害者福祉協会 滝川支部 滝川市江部乙町身障者協会  
 滝川心身障害児を持つ親の会(たんぼほの会) 3 精神  
 薄弱者福祉関係 4 母子福祉関係 5 児童福祉関係 6  
 生活保護関係 7 老人福祉関係 8 国民年金制度

第二節 民生委員……………二八三

全国大会での受彰 民生委員数の増員 民生委員協議会の結成と地区制の改正 各部会制度 最近の活動状況と問題の傾向 歴代民生委員 民生委員推せん会

第三節 社会福祉活動・組織……………二九〇

1 戦災者・引揚所援護(略) 2 滝川市遺族会 3 戦没者遺族援護・恩給法請求事務 4 募金活動(日本赤十字社と募金 共同募金 赤十字北海道大会) 5 滝川市社会福祉協議会 6 滝川市結婚相談員

第四節 社会福祉施設……………二九九

1 総合福祉センター 2 老人福祉施設(滝川市老人福祉センター 滝川市中央老人福祉センター 緑寿園 滝川市デイ・サービスセンター 滝川市三世代交流センター) 3 身体障害者のための総合福祉施設 (身体障害者福祉センター 地域ふれあいセンター 身体障害者公営住宅 滝川更生園 滝川新生園) 4 公益質屋 5 滝川市民会館

第五節 保育園・保育所……………三二四

1 私設保育園の概要 2 市立保育所 3 社会福祉事業団経営の保育所 4 保育内容の充実

第六節 公営住宅など……………三二八

公営住宅入居者選考委員会

第七節 公社等……………三二六

株式会社滝川振興公社 振興公社の事業概況 学生会館 その他の賃貸施設 滝川市土地開発公社 株式会社滝川農業開発公社 株式会社滝川リゾート開発

第三章 上水道・下水道事業

第一節 上水道設置以前の飲料水……………三三三

第二節 滝川市上水道……………三三三

第五期拡張事業 有収率の向上 江部乙地区簡易水道事業 第六期拡張事業 水道料金の改訂 中空知広域水道企業団の設立 水道事業の沿革一覽

第三節 下水道整備……………三三九

下水道整備のあゆみ 公共下水道第四期工事 公共下水道第五期工事 特定環境保全公共下水道工事 下水道審査委員会の廃止 水洗化の状況 下水道使用料改定 狩川流域下水道事業

第八編 産業・経済

第一章 農業

第一節 屯田兵時代の農業……………(下三)

第二節 開拓……………(下四)

第三節 稲作……………三四九

米の生産調整と稲作転換事業 転作等の実施面積 作物別転作面積 水稲の作付面積と収穫量 昭和五十三年以降の米一俵価格表

第四節 畑作……………三五三

1 畑作の推移 2 主要作物の現況 3 野菜の現況

第五節 園芸……………三五五

1 果樹 2 花卉

第六節 農産加工……………三五七

北海あいがも 滝川市ふるさとセンター 東滝川地区研

修センター 滝川農業開発公社 九加高原伝習館 空知  
ワイン 滝川ワイン

第七節 農業災害……………三五九

昭和五十四年 昭和五十五年 昭和五十六年 昭和五十八年

第八節 土地改良……………三六〇

1 かんがい排水事業(1)国営事業 (2)道営かんがい排水事業 (3)道営排水対策特別事業 (4)道営用排水施設整備事業▽ 2 その他の改良事業 (1)道営圃場整備事業 (2)道営土地改良総合整備事業 (3)旭沢土地改良区受託業務 (4)江部乙土地改良区受託業務 (5)農地造成改良事業▽

第九節 農業の構造改善……………三六一

圃場整備事業 草地造成改良事業 農道整備事業 総合事業における農道整備分

第十節 農業総合整備モデル事業……………三六五

第十一節 新農業構造改善事業……………三六六

1 事業名 2 事業の目的 3 地区農業の現状と課題 4 事業導入の基本方針 5 地区の農業構造改善事業の構想 6 具体的事業計画(農林漁業体験実習館 野外緑地広場 野営場等林間休養施設 体験農園地等管理施設 体験農園、学童農園 構造改善推進事業▽)

第十二節 農地制度(戦前の制度)……………(上二〇九)▽

第十三節 農地改革(戦後の制度)……………三六八

農業委員会 農業振興条例の制定 農業振興委員会 農業振興補償融資委員会

第十四節 畜産……………三七一

1馬 2牛 (1)乳用牛 (2)肉用牛▽ 肉用牛の飼育奨

第十五節 林業……………三七七

励 市営牧場 3豚 4養鶏 5あいがも  
森林・林業をめぐる情勢 北海道の動向 北海道森林資源の趨勢 滝川市の林業 (1)森林組合の解散 (2)最近の動向 (3)「北海道の森」造成▽ 滝川林務署 歴代署長

第十六節 内水面漁業……………三八〇

養鯉 地引網等による採捕許可

第十七節 関係諸機関……………三八一

札幌統計情報事務所滝川出張所 北海道食糧事務所滝川支所 北海道立滝川畜産試験場 組織・機構 研究分野の概要 空知支庁空知東部地区農業改良普及所 北海道立植物遺伝資源センター 植物遺伝資源確保の必要性 業務概要 施設 組織及び分担 歴代場長 中空知農業共済組合目的 事業の種類 組合の構成 滝川市園芸センター 滝川市農業試験地 東滝川地区転作研修センター 株式会社滝川農業開発公社 空知土地改良区 江部乙土地改良区 旭沢土地改良区 滝川市農業協同組合 江部乙町農業協同組合 部門別生産団体

第十八節 農政一般……………三九一

1 滝川市農業生産総合振興計画 2 その他農政一般(農業組合、各種生産集団に対する指導、各種農業団体への助成、農業後継者対策、三・八運動、農業まつり、ふれあい農園、滝川市農村情報連絡施設▽)

第十九節 農業主要統計……………三九七

農家戸数・人口、主要作物別作付面積の収穫高、農機具普及台数

第二十節 農民運動……………四〇一

目次

第二章 工業

- 1 戦前の農民運動と滝川・江部乙の動向
- 2 戦後の農民運動
- 3 農民組織の変遷
- 4 組織活動

第一節 味噌・醤油醸造業……………四〇六

虎谷醸造店

第二節 酒造業……………△下二〇六▽

第三節 製糸業……………△下二〇八▽

第四節 木材業……………四〇六

株式会社藤井製材所

第五節 電気業……………△下二一〇▽

第六節 軍需工場……………△上二二一▽

第七節 電力・ガス……………四〇七

滝川火力発電所の閉所とテクニカルセンターの誕生 滝川テクニカルセンター(総合技術研修所) 北海道電力

株式会社滝川営業所 滝川ガス株式会社

第八節 工業団地……………四〇九

滝川中央工業団地、中空知流通団地

第九節 建設業……………四一一

滝川建設協会 株式会社居林組 株式会社神部組 株式会社齊藤組 笹木産業株式会社 三共舗道株式会社滝川支店 株式会社泰進建設 田端建設株式会社 株式会社千田組 株式会社中山組本店 不二建設株式会社

第十節 製造業……………四二〇

北炭機械工業株式会社滝川工場、サークル鉄工株式会社

日本ヒューム管(株)滝川工場、北興化学工業株式会社

第三章 商業

- 株式会社種田コンクリート工業所、不二建材株式会社、株式会社上田コンクリート工業所、上田生コン株式会社、大栄産業株式会社、タキ生コン株式会社、株式会社北海道興産空知営業所、ミニキ洋服株式会社滝川工場丸井ニット株式会社滝川工場、株式会社ティエール、株式会社栄栄食品北海道滝川工場、有限会社大沢商店、有限会社雨竜商会、工業概況

第一節 創始時代……………△下二三九▽

第二節 明治末・大正時代の商況……………△下二四四▽

第三節 運送業……………四三一

トラック協会滝川支部、日本通運(株)滝川営業支店 滝川通運株式会社、滝川自動車運輸株式会社、滝川北自運輸株式会社

第四節 倉庫業……………△下二四七▽

第五節 魚菜市场……………四三三

滝川地方卸売市場株式会社

第六節 回送業……………△下二五〇▽

第七節 精米業……………△下二五二▽

第八節 戦時中の商工業……………△下二五五▽

第九節 商工会……………四三四

滝川商工会議所、商業近代化地域計画の策定、江部乙商工会、滝川市商工業振興委員会、商工振興委員会、共済制度

第十節 協同組合……………四三九

中空知砂利協業組合、滝川食糧小売商業協同組合、空知

地方石油業協同組合、滝川銀座名店街協同組合、滝川鈴蘭名店街協同組合、滝川地方骨材協同組合、協同組合滝川デパート・プロスビル、広告美術塗装業協同組合、滝川地方たばこ販売協同組合、商業協同組合ショップメイ、丸協道央荷受協同組合、滝川古物商組合、滝川酒販協同組合、滝川小売酒販組合

第十一節 商店街……………四四一

滝川銀座商店街振興組合、鈴蘭中央商店街振興組合、滝川駅前商店街振興組合、滝川坂の上商店街振興組合、大通商工連合会、滝川大通三丁目商店街振興組合、滝川大通商店街振興組合、泉町商店会、西町商工振興会、滝川市商店街振興組合連合会、江部乙町商店会

第十二節 商業都市……………四四三

商業都市——商業ルネッサンスをめざして——(附滝川名店ビル、高林デパート、滝川駅前再開発、駅前再開発ビル、株式会社西友滝川店、変貌する街

鈴蘭通りショッピングモール事業——ベルロードの誕生——松尾羊肉株式会社、滝川の旅館業、ホテルスエヒロ、滝川ホテル三浦華園、株式会社津元電気商会、ホームセンターマスタ、ハウジング・SATO、アイレディース宮殿滝川、株式会社マリアージュインベルコ、滝川理容組合、滝川美容協会、日本たばこ産業株式会社滝川営業所

第十三節 遊郭……………(下二八二)▽

第十四節 関係諸機関……………四五四

第四章 労働

第一節 滝川の労働運動の委明……………(下二九一)▽

第二節 土工部屋から監獄部屋へ……………(下二九一)▽

第三節 農民運動と小作争議……………(下二九五)▽

第四節 労働争議・労働組合……………四五九

労働組合状況、滝川地区労働組合協議会、江部乙地区労働組合協議会、北海道労働総同盟 滝川地区同盟

第五節 空知労働会館(その他)……………四六一

江部乙労働会館、滝川市勤労青少年ホーム、滝川勤労青少年体育センター 滝川市勤労青少年ホーム運営審議会委員

第六節 メーデー……………四六四

第七節 関係官庁……………四六四

滝川公共職業安定所、滝川労働基準監督署

第五章 金融

株式会社北洋銀行滝川支店、北海道拓殖銀行滝川支店、株式会社北海道銀行滝川支店、株式会社札幌銀行滝川支店、富良野信用金庫滝川支店、北空知信用金庫滝川支店、道央信用組合、北門信用金庫、北門信用金庫滝川北支店、北門信用金庫江部乙支店、北門信用金庫二の坂支店、北海道労働金庫滝川支店、北海道信用保証協会滝川支所、滝川町御大札記念貯金組合

第九編 教育

滝川市の教育元年……………四七五

# 第一章 学校教育

第一節 学制の変遷……………△下三二七▽

第二節 小学校……………四七七

滝川第一小学校、滝川第二小学校、滝川第三小学校△八  
三小学校 言語障害児学級▽ 江部乙小学校、西小  
学、東栄小学校、東小学校

第三節 中学校……………四八二

江陵中学校、明苑中学校、東栄中学校、開西中学校、江  
部乙中学校

第四節 高等学校……………四八六

滝川工業高等学校、滝川高等学校、滝川北高等学校、滝  
川西高等学校

第五節 その他……………四九三

父母と先生の会・後援会の歴代会長、滝川市父母と先生  
の会連合会、特字等の育成後援団体（滝川市手をつなぐ  
親の会、滝川地区ことばを育てる親の会）、奨学資金制度、  
滝川市教育振興会、空知の教育、最近における学校教育  
の動向、空知教育研究所、現代っ子の特徴、滝川の児童  
生徒の体位

第六節 学校給食・学校林……………五〇三

滝川市の学校給食、学校給食連合会、学校給食製パン工  
場、学校林

第七節 その他の学校……………五〇七

滝川市立おおぞら幼稚園、滝川市立みずほ幼稚園、学校  
法人滝川学園滝川幼稚園、滝川白樺幼稚園、えべおつ幼  
稚園、空知自動車学校、江部乙ドレスメーカー学院、滝  
川中央技芸学校、滝川家政学院、滝川ドレスメーカー専

第八節 大学……………五二二

門学校、空知医師会立准看護学校、滝川市医師会立准看護  
学院、滝川市立高等看護学院

第九節 校歌楽譜……………五一七

滝川第一小学校、滝川第二小学校、滝川第三小学校、西  
小学校、東栄小学校、東小学校、江部乙小学校、北辰小  
学校、東陽小学校、旭沢小学校、江陵中学校、明苑中学  
校開西中学校、江部乙中学校、滝川高等学校、滝川高等  
女学校、滝川北高等学校、滝川工業高等学校、滝川中学  
校、滝川西高等学校、おおぞら幼稚園、みずほ幼稚園、  
えべおつ幼稚園、滝川市医師会立准看護学院

## 第二章 社会教育

昭和五十六年以降の社会教育委員

第一節 社会教育の推進……………五二八

第二節 事業の推進……………五二八

社会教育事業、滝川市商工青年学園、家庭教育学級、レ  
ディス・コスモス・フェスティバル、婦人のつどい、婦  
人教養セミナー、福寿大学、公民館講座、公民館まつり  
成人式

第三節 社会教育施設の充実……………五三〇

児童館と児童館母親クラブ、滝川市自然の家、歩くス  
キー、滝川市中央公民館、公民館運営審議会、滝川市民  
会館、旧市民会館、文化センター、滝川市郷土館、郷土  
館分館、華月館の概要、屯田兵屋、滝川市立図書館、だ  
るまちゃんの会、滝川子ども読書会、滝川市立図書館、だ  
るまちゃんの会、滝川地区視聴覚ライブラリー、美術自  
然史館、滝川市航空科学館、

社会体育施設「滝の川運動公園体育施設」滝川市青年体  
育センター、滝川市営球場、滝川市テニスコート、滝川  
市弓道場、滝川市陸上競技場、滝川市スポーツセンタ  
ー、滝川市硬式テニスコート、滝の川球場、アーチェリ  
ー場、サイクリングターミナル、時計塔、その他、主な  
全道全国スポーツ大会、滝川市温水プール、滝川市のス  
カイスポーツ、滝川航空協会、滝川滑空場、航空科学研  
修センター、滝川航空公園、社団法人滝川スカイスポー  
ツ振興協会、体育指導委員

第四節 青少年の育成……………五五九

滝川市青少年補導センター、滝川市スポーツ少年団本  
部、滝川市青少年問題協議会、滝川市青少年育成会連絡  
協議会、地区青少年育成会、滝川市青少年を育てる会、  
少年指導委員、日本ボーイスカウト滝川第一団

第五節 青年団体……………五六四

滝川市青年団体協議会、滝川市青年会議、滝川市商工青  
年学園自治会ぶらたなす、江部乙町農業協同組合青年部  
滝川市農業協同組合青年部

第六節 婦人団体……………五六五

新たなる婦人会活動、滝川市農業協同組合婦人部、江部  
乙町農業協同組合婦人部、滝川市婦人会、江部乙町婦人  
会、滝川市母子会、滝川市婦人団体連絡協議会  
その他、滝川市婦人ボランティアクラブ、滝川市女性の  
自立プラン推進協議会、働く婦人の家、働く婦人の家連  
営審議会委員

第七節 滝川市の生涯学習への取り組み……………五七〇

滝川市生涯学習推進本部、財団法人滝川市生涯学習振興  
会

第十編 宗 教

第一章 神社・寺院・教会

宗教法人数

第一節 神社……………五七六

市内神社一覽

第二節 寺院・教会……………五七六

市内寺院・教会一覽、滝川市各宗寺院連合会

第三節 その他の宗教団体……………五八〇

第四節 墓 地……………五八一

滝の川斎苑火葬場使用状況

第十一編 交通・運輸・治水

第一章 交通・運輸

第一節 石狩川交通……………△下五三九▽

第二節 道 路……………五八五

1 主要道路の整備 (一)一般国道十二号、(二)一般国道十二  
号バイパス道路、(三)一般国道三十八号、(四)道路の整備  
(五)市道の整備、東二号通り都市計画街路の整備、シレニ  
ア橋、道路の除排雪  
2 北海道縦貫自動車道(道央自動車道)コンクリート  
橋、高速道路利用実態調査、道央自動車道料金表

第三節 駅 通……………△下五九七▽

第四節 渡 船……………△下六〇五▽

第五節 橋 梁……………五九五

滝新橋、平成橋(仮称)着工

第六節 石炭採掘と鉄道開通……………△下六一九▽

第七節 上川線の開通……………△下六二四▽

第八節 鉄道の整備発達……………△下六二八▽

第九節 下富良野線……………△下六三一▽

第十節 新幹線とローカル線……………五九六

札沼線問題

第十一節 鉄 道 駅……………五九六

滝川駅、JR北海道滝川運転所、JR北海道滝川保線管理室、JR北海道滝川信号通信所、江部乙駅、東滝川駅

第十二節 諸 車……………五九九

車種別自動車実在数、タクシー利用状況

第十三節 自動車運輸……………六〇〇

北海道中央バス株式会社空知営業部、中央バスターミナル、中央バス滝川営業所、北海道旅客鉄道株式会社滝川自動車営業所

第十四節 交通安全……………六〇三

交通安全の推進、滝川交通安全協会、滝川市交通安全連動推進協議会、滝川自動車運転者協会、滝川市交通公園、滝川交通指導員会

第二章 治 水

第一節 滝川と川……………△下六七五▽

第二節 石狩川の水路保護……………△下六七六▽

第三節 風 水 害……………六〇八

第四節 石狩川・空知川の治水……………六〇九

1 北海道開発局滝川河川事務所関係治水工事

2 滝川市関係(普通河川)治水工事

3 石狩川治水八〇年記念事業、川の科学館、記念碑とモニュメントの除幕 当日のその他行事

第五節 関係官庁・団体・組合……………六一八

札幌開発建設部滝川道路事務所、歴代所長、札幌土木現業所滝川出張所、日本道路公団札幌建設部滝川工事事務所、石狩川治水促進期成会、総会決議、道路保護組合、河川愛護組合

第十二編 治 安

第一章 国 防

第一節 徴 兵……………△下七一〇▽

第二節 戦争・事変……………△下七一三▽

第三節 町内国防……………△下七一六▽

第四節 陸上自衛隊滝川駐とん部隊……………六二七

移駐後の現況 滝川駐とん部隊の構成 自衛隊誘致に関する補説

第二章 警 察

第一節 開村前の警察概要……………△下七三七▽

第二節 滝川警察署……………六三一

第三節 公安・防犯……………六三二

札幌鉄道公安室滝川公安分室の廃止 滝川地区防犯協会

第三章 司 法

第一節 開村前後及び終戦までの概説……………△下七四九▽

第二節 裁 判 所……………六三三

第三節 札幌法務局滝川支局……………六三四

第四節 検 察 庁……………六三五

第五節 滝川地区保護司会……………六三五

第六節 人権擁護委員……………六三七

第七節 滝川公証役場……………六三七

第四章 消 防

第一節 消 防 組……………△下七六〇▽

第二節 警 防 団……………△下七六六▽

第三節 自治体消防……………△下七六七▽

第四節 広域消防……………六三九

    広域消防事務組合 滝川市コミュニティ防災センター

    消防訓練塔 滝川消防署北分遣所の推移 車両等の整備

    サイレン塔の設置 三〇メートル梯子付消防自動車の配

    置 出動・訓練・記念式等 北海道消防大会 各種受

    賞・表彰等 広域消防統計

第五節 消防後援……………六五〇

    滝川市消防協会 防災会議 滝川地区危険物安全協会

    滝川市少年婦人防火委員会 防災対策・応急復旧・救助

    活動等の協力団体

第十三編 生活と文化

第一章 市民生活の推移

第一節 衣・食・住の変遷……………△下七八九▽

第二節 市民生活運動……………六五七

新生活運動、滝川公害防止協会、公害防止北興化学工業(株)工場誘致についての確約書、赤平製紙(株)との公害防止協定▽ 結婚相談、露店の消えた「お祭り」、小売価格の動向

第三章 映画館・劇場・娯楽……………六六二

シネマシアター、パチンコ、(有)北星商事企画、(有)日新会館 グランド黄金、ゴールドデン東京滝川店、ポパイ遊戯場、ボーリング「タックルボール」

第二章 通信・報道

第一節 郵 便……………六六五

    滝川郵便局、江部乙郵便局、東滝川郵便局、滝川泉町郵便局、滝川黄金郵便局、滝川本町郵便局、滝川駅前郵便局、滝川有明郵便局、滝川滝の川郵便局、北海道郵便通送株式会社滝川営業所

第二節 電信・電話……………六六七

    NTT滝川営業所

第三節 報 道……………六六八

    読売新聞社滝川通信部、北海タイムス滝川支社、北海道新聞社滝川支局、朝日新聞社滝川通信局、毎日新聞社滝川通信部、空知情報新聞社、ローカル新聞社、株式会社

空知新聞社、北海空知、広報たきかわ

第四節 放送……………六七〇

テレビ放送、NHK滝川通信部、ラジオ放送 商業協同  
組合ショップメイト放送部

第三章 社会・文化活動

第一節 文化活動……………六七二

滝川文化協会、江部乙町文化団体協議会、滝川市文化団  
体連絡協議会、文化功労賞・文化奨励賞

第二節 趣味・芸能……………六七七

滝川珠算連盟、滝川シレニア会、滝川アマチュア無線ク  
ラブ、ゲートボール協会、ゴルフ

第三節 体育……………六七九

財団法人滝川市体育協会、スポーツ賞、「はまなす国体」  
(第四回国民体育大会)

第四節 文芸……………△下九一二▽

第五節 社会活動……………六八六

滝川市郷土研究会、文化財保護審議会委員、滝川ロータ  
リークラブ、滝川ライオンズクラブ、滝川中央ライオン  
ズクラブ、滝川レオクラブ、江部乙ライオンズクラブ、  
社団法人滝川青年会議所、滝川市消費者協会

第六節 憩いの場……………六九一

滝の川運動公園、北電公園、空知川緑地、海牛公園、石  
狩川河川敷、滝川市民ゴルフ場、公衆浴場

第七節 滝川のイベント……………六九三

滝川しぶき祭、滝川市民冬まつり、コスモス祭り

第四章 文化財・史跡

第一節 滝川市の文化財……………七〇二

第一号高畑利宜資料 第二号屯田兵第二大隊第三中隊文  
書 第三号華月館 第四号滝川産海牛化石 第五号屯田  
兵屋第六号牧羊石造サイロ

第二節 史跡標柱……………七〇四

1 行政に関する史跡 2 屯田兵に関する史跡 3 交通・  
運輸・治水・通信に関する史跡 4 治安に関する史跡  
5 教育に関する史跡 6 宗教に関する史跡 7 産業・経  
済・その他の史跡

第三節 記念碑・記念像等……………七一七

1 空知太地域 2 空知大橋、文化センター付近 3 市役  
所付近 4 滝川神社境内 5 一の坂付近 6 栄町・西町  
方面 7 文京町・市民会館附近 8 滝の川公園 9 滝の  
川斎苑 10 江部乙神社境内 11 江部乙市街 12 東滝川方  
面

第四節 地・水神宮と農業関係の碑……………七五二

1 地神宮・水神宮 2 農業に関する記念碑 3 馬頭観音  
像等

第五章 観光

第一節 市内観光……………七六一

水郷滝川公園、北泉岳寺北海道四十七義士の墓、道立滝  
川畜産試験場、滝の川運動公園、丸加高原、航空公園、  
池の前水上公園、北電公園、チョッちゃんコレクショ  
ン、江部乙フルーツ農園、社団法人たきかわ観光協会

第二節 滝川市の周辺観光……………七六六

芦別市（芦別温泉、北の京芦別）、赤平市（エルム森林公園、エルムスボートゾーン）、砂川市（子どもの国）、歌志内市（かもい岳スキー場・悲別ロマン座）、奈井江町（ないえ温泉ホテル北の湯）、上砂川町（上砂川岳温泉、日本庭園）、浦臼町（鶴沼公園）、新十津川町（ふるさと公園）、雨竜町（雨竜沼と南暑寒別岳）

付一 昭和から平成へ……………七七一

付二 二世紀に飛躍する滝川……………七七六

1	開基一〇〇〇年記念事業企画推進会議……………	七七六
2	開基一〇〇〇年記念事業等実施本部……………	七八〇
3	滝川市開基一〇〇〇年記念事業実施のあゆみ……………	七八二
4	厳粛ななかにも盛大な『記念式典』……………	七八三
5	七月一日、当日の記念行事……………	七八五
6	市民ぐるみの祝賀行事「前夜祭」……………	七八七
7	歓迎レセプション……………	七八八
8	主な記念事業……………	七八八
9	開基一〇〇〇年記念の主な協賛行事……………	七九三
◎	結 び……………	七九四
年	表（明治時代以降の主な事項）……………	七九七
	編さんを終えて……………	八八五

